

The next frontier in mobility.



# 2021年3月期 第1四半期 決算説明会

2020年7月31日  
アイシン精機株式会社

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づく将来予測が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の事業運営や為替変動等の内外の状況の変化により、大幅に異なる可能性があります。

- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| <b>1. 2021年3月期 第1四半期 実績</b> | <b>P.2~7</b>   |
| <b>2. 2021年3月期 通期 予想</b>    | <b>P.8~10</b>  |
| <b>3. 参考資料</b>              | <b>P.11~19</b> |

# 1. 2021年3月期 第1四半期 実績

---

1. 第1四半期の実績は、中国市場は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅な減収・減益。
2. 売上の大幅な減少に伴う対応として、緊急対策の取り組みに加え、固定費削減を中心とした構造改革を加速。
3. 通期予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として不透明であるものの、緊急対策・構造改革により、前年並みの利益を見込む。

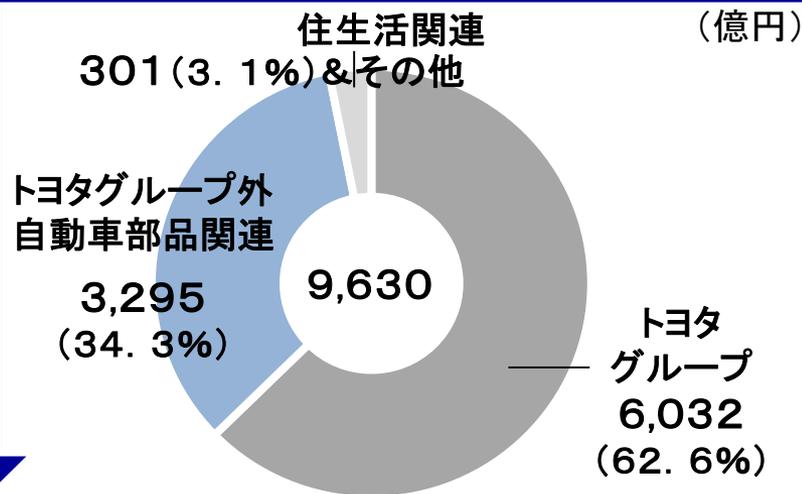
# 2021年3月期 第1四半期 実績

(億円)	2020年3月期 第1Q		2021年3月期 第1Q		増減	
	実績	構成比 %	実績	構成比 %	増減額	増減率 %
売上収益	9,630	-	5,552	-	▲4,078	▲42.3
営業利益	255	2.7	▲799	▲14.4	▲1,054	-
税引前利益	291	3.0	▲737	▲13.3	▲1,028	-
当期利益(※)	174	1.8	▲503	▲9.1	▲677	-
一株当たり利益	64.57 円	-	▲186.66 円	-	▲251.23 円	-
前提条件	為替レート	米ドル 110円	米ドル 108円	▲2円	▲1.8	
		中国元 16.0円	中国元 15.2円	▲0.8円	▲5.0	
	トヨタ生産台数	233万台	123万台	▲110万台	▲47.2	
	AT販売台数	226万台	137万台	▲89万台	▲39.4	

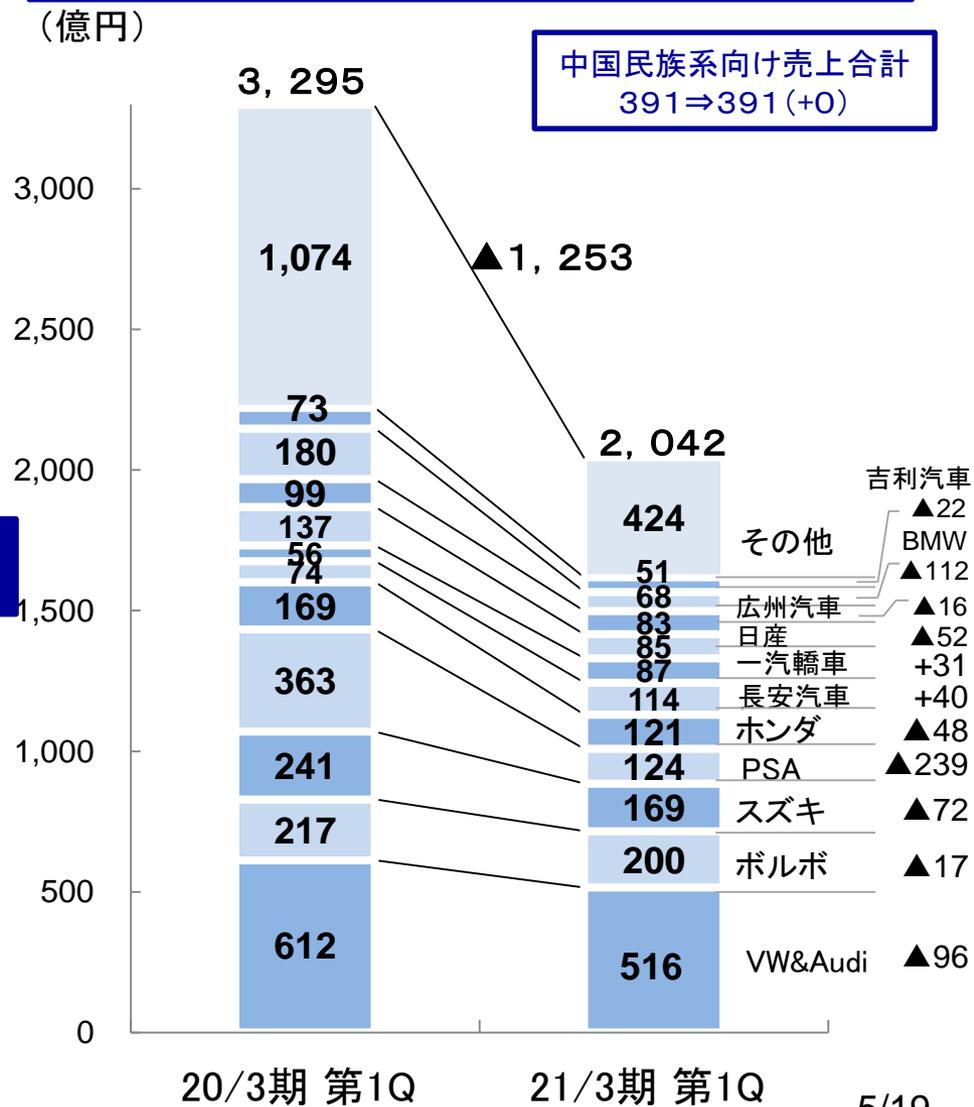
(※) 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2021年3月期 第1四半期 得意先別売上収益

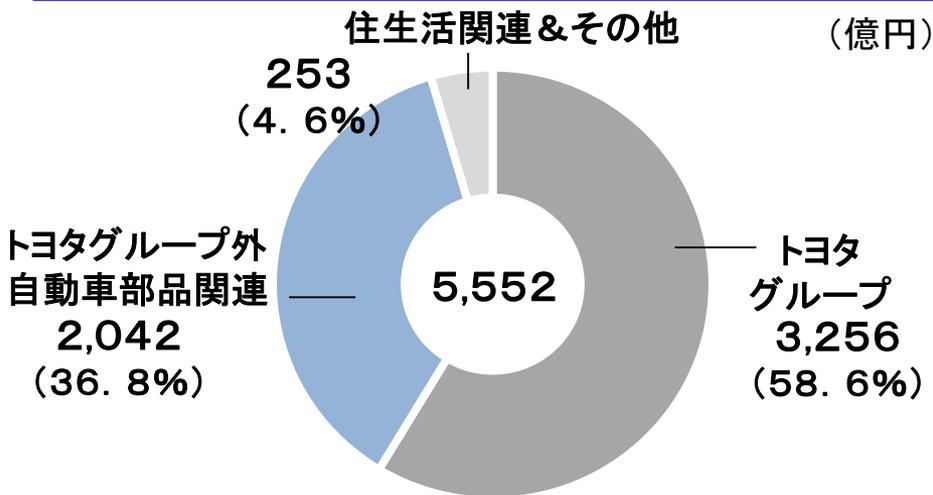
## 20年3月期 第1Q 売上収益



## トヨタグループ外 自動車部品関連内訳

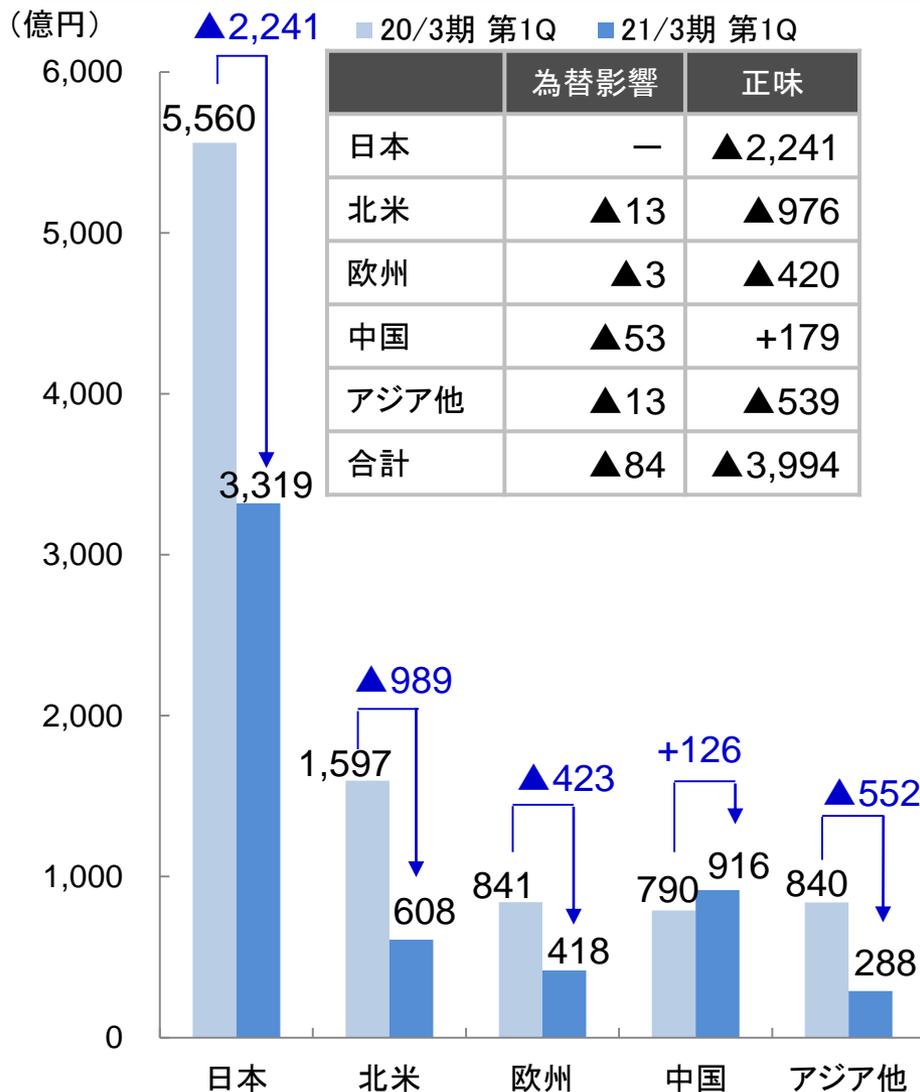


## 21年3月期 第1Q 売上収益 (前年比▲4,078)

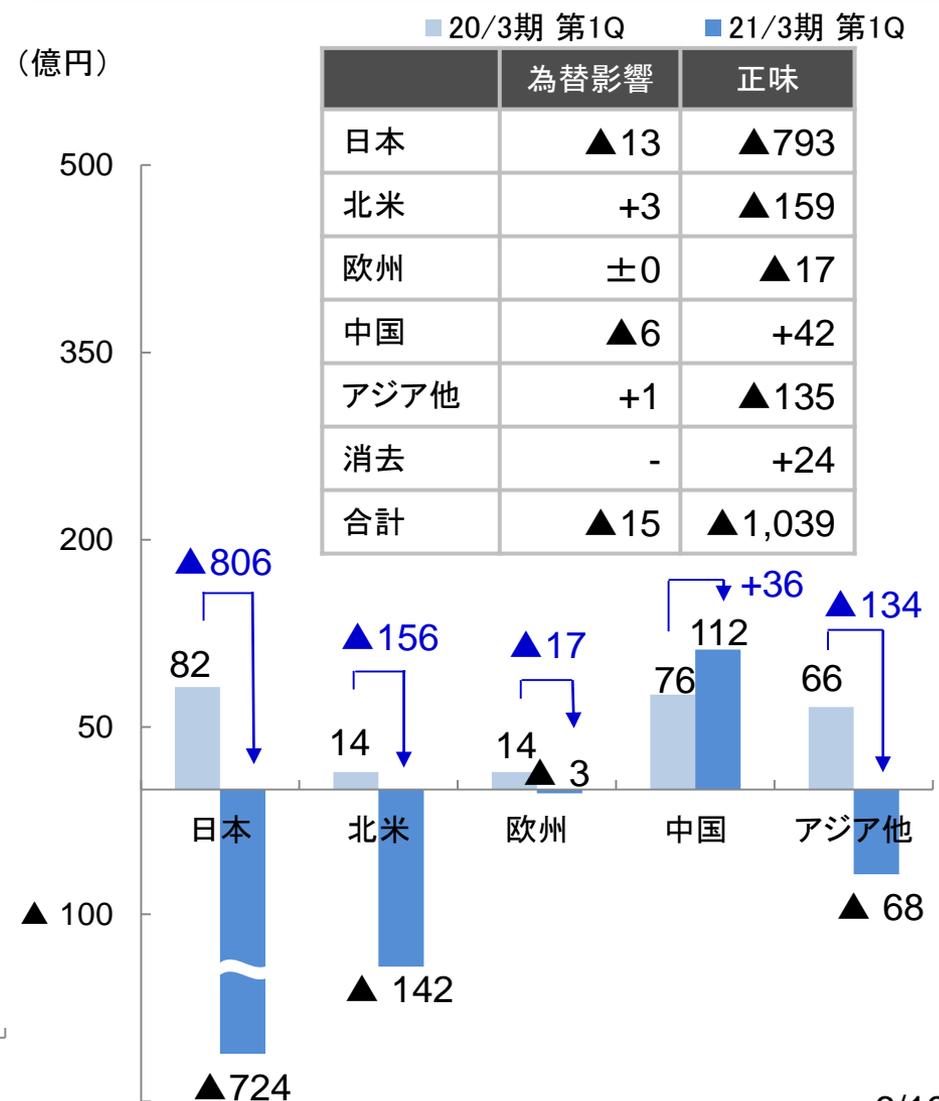


# 2021年3月期 第1四半期 所在地別セグメント

## 売上収益(前年比▲4,078)



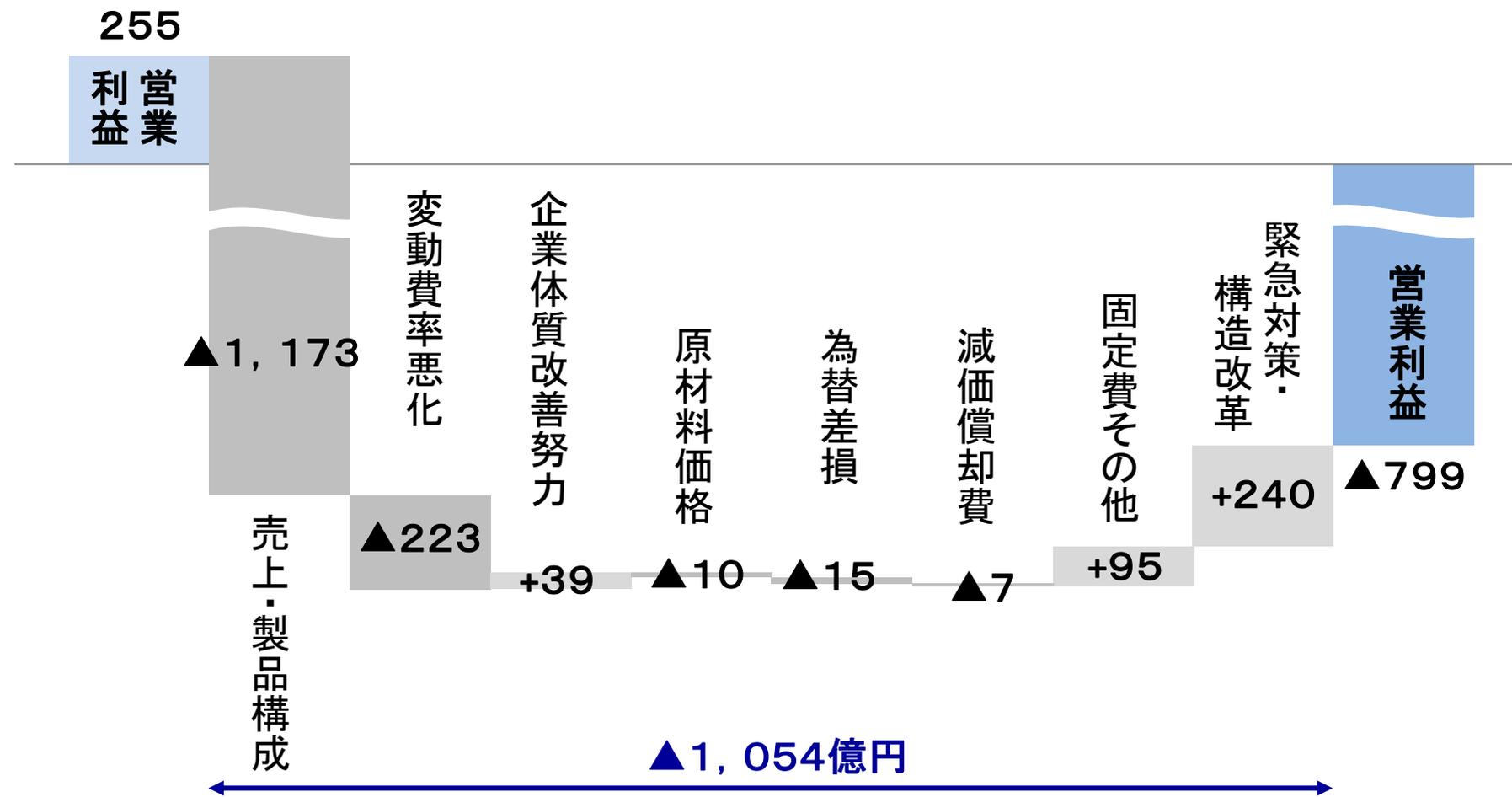
## 営業利益(前年比▲1,054)



# 2021年3月期 第1四半期 営業利益の増減

## 営業利益の増減(前年比)

(億円)



## 2. 2021年3月期 通期 予想

---

# 2021年3月期 通期 業績予想

(億円)	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	構成比 %	予想	構成比 %	増減額	増減率 %
売上収益	37,845	-	33,800	-	▲4,045	▲10.7
営業利益	561	1.5	500	1.5	▲61	▲10.9
税引前利益	533	1.4	500	1.5	▲33	▲6.4
当期利益(※)	240	0.6	270	0.8	+30	+12.2
一株当たり利益	89.28 円	-	100.18 円	-	+10.90 円	+12.2

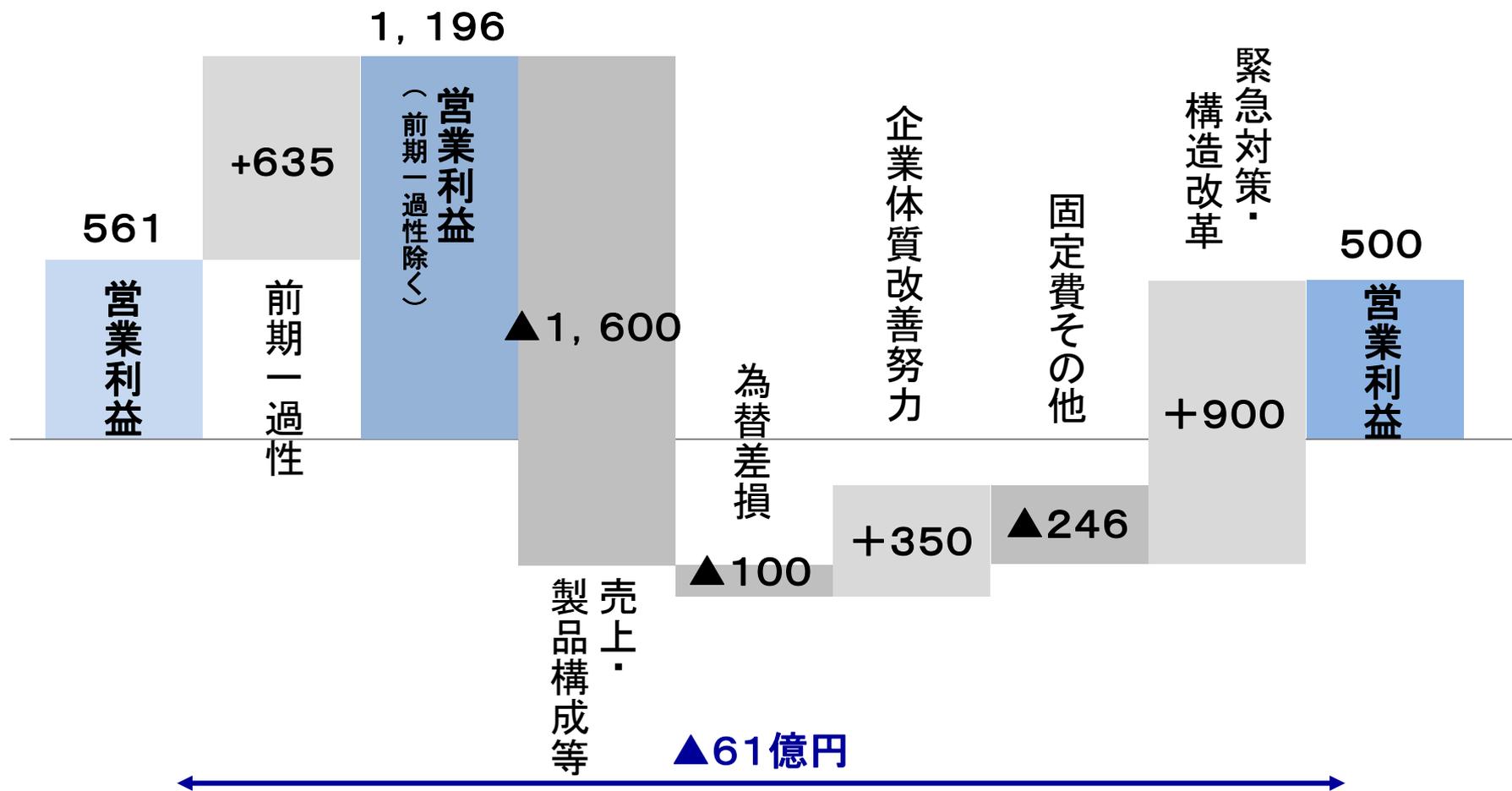
前提条件	為替レート	米ドル109円	米ドル106円	▲3円	▲2.8
		中国元15.6円	中国元14.9円	▲0.7円	▲4.5
	AT販売台数	904万台	840万台	▲64万台	▲7.1

(※) 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2021年3月期通期 営業利益の増減予想

## 営業利益の増減(前年比)

(億円)



20/3期

21/3期  
(予想) 10/19

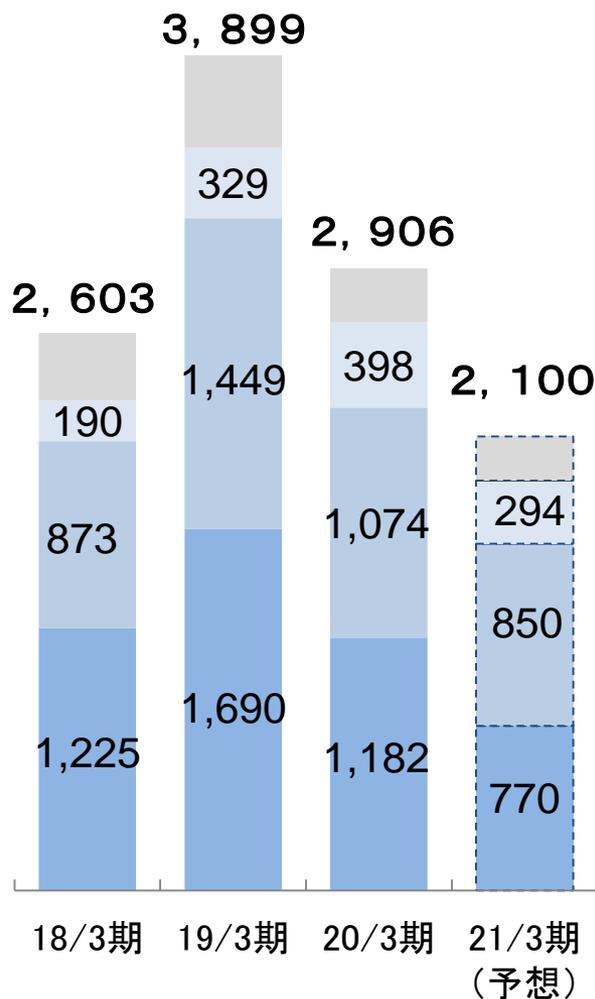
# 3. 参考資料

---

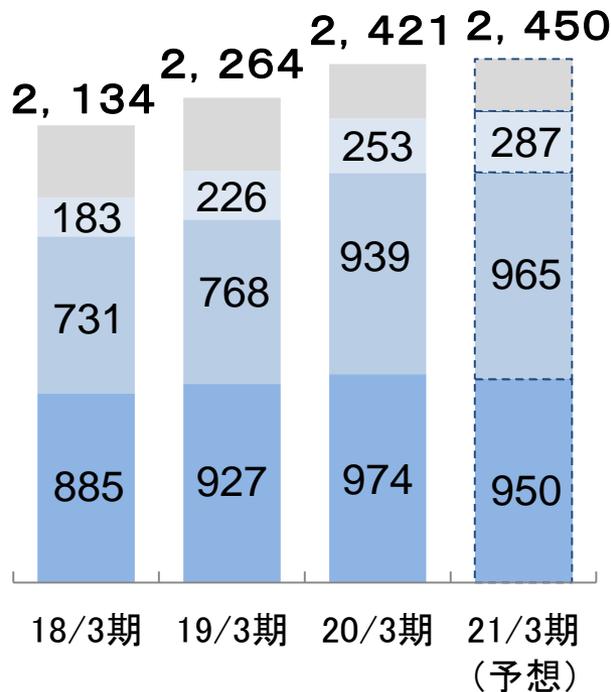
# 設備投資・償却費・研究開発費の推移

## 設備投資

(億円)



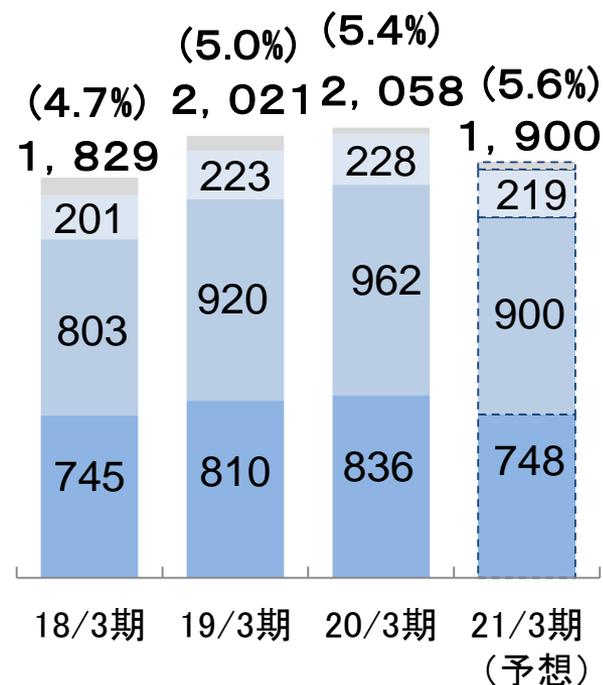
## 償却費



## 研究開発費

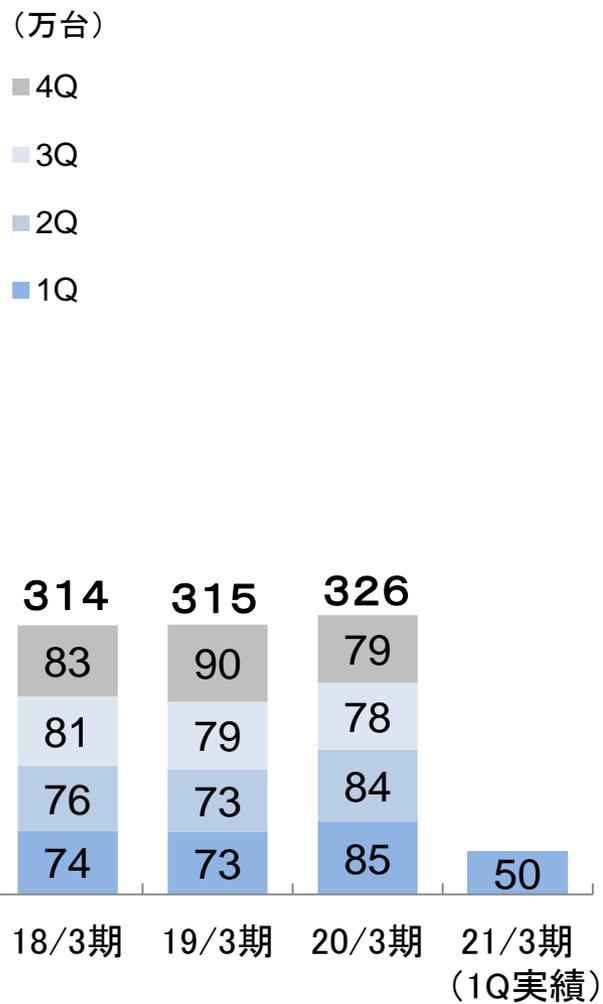
( )内は売上収益比率  
20/3期のみAWサブはアイシンAI統合後数値

- その他
- ADS-G
- AW-G
- 精機-G

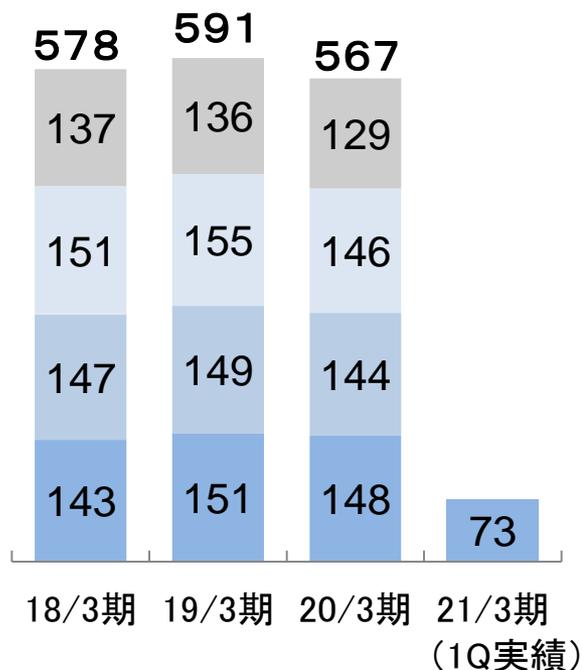


# トヨタ生産台数の推移

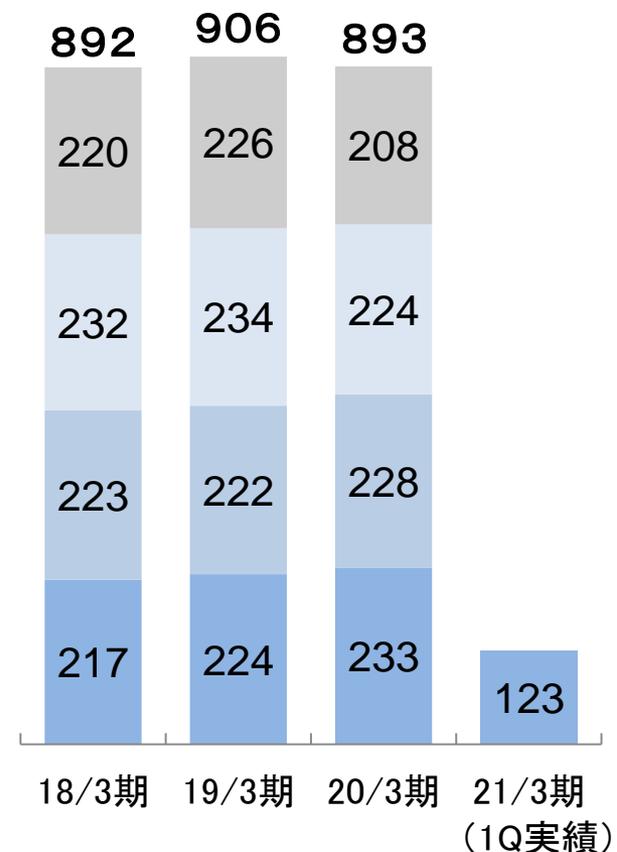
## トヨタ国内生産台数



## トヨタ海外生産台数

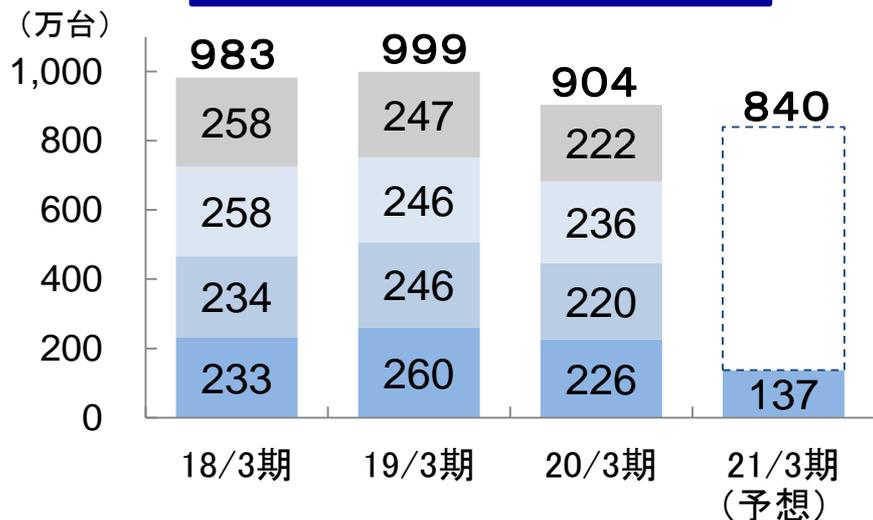


## トヨタ生産台数合計

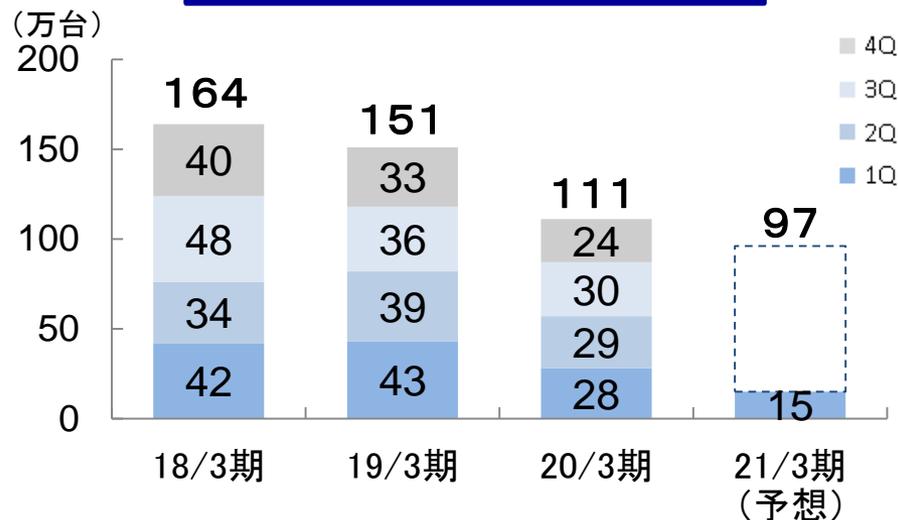


# 販売台数の推移

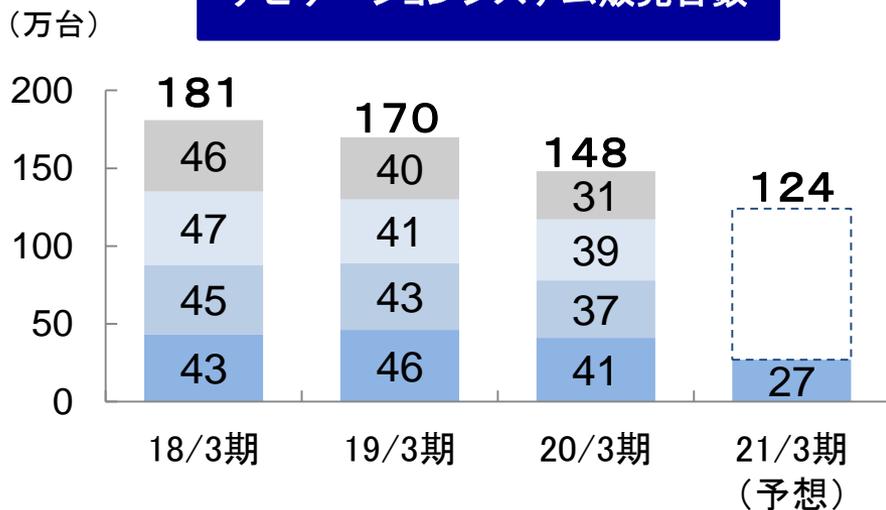
## AT販売台数



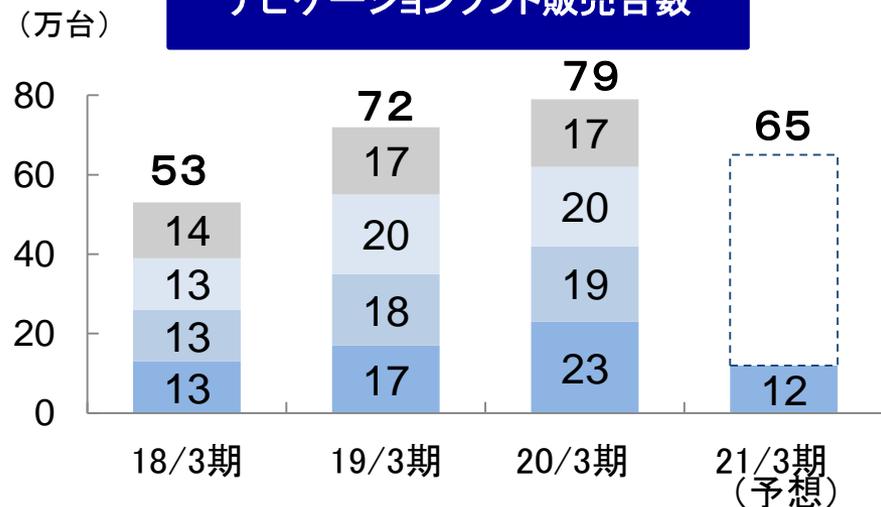
## MT販売台数



## ナビゲーションシステム販売台数

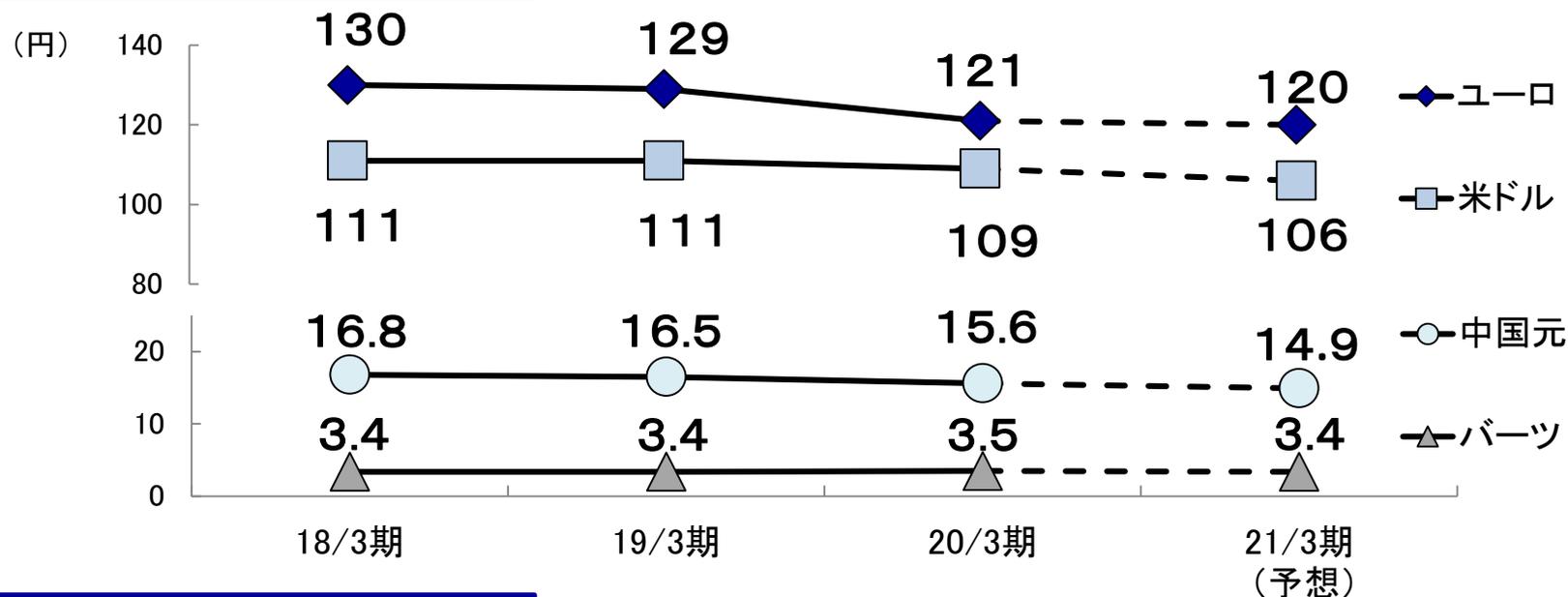


## ナビゲーションソフト販売台数



# 前提となる為替レートの推移

## 為替レート



## 為替感応度

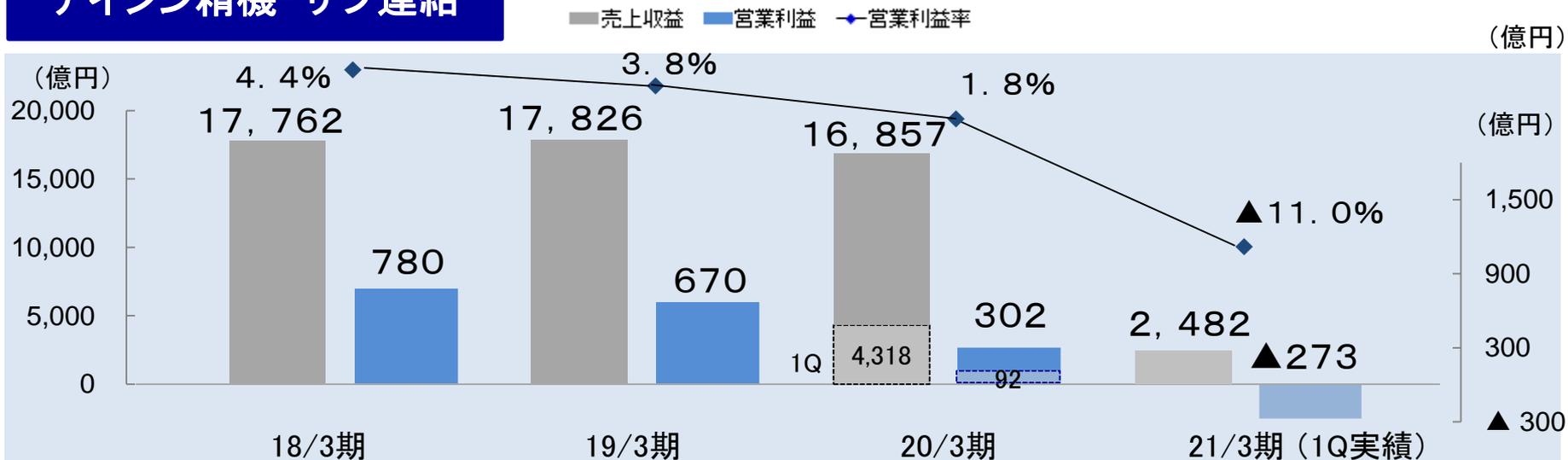
参考: 1円(0.1円)変動あたりの利益影響額 (億円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期(予想)
米ドル	11.3	11.3	9.6	10.9
ユーロ	1.9	1.7	1.8	1.3
バーツ※	12.6	15.5	13.1	7.9
中国元※	8.1	7.6	4.0	6.5

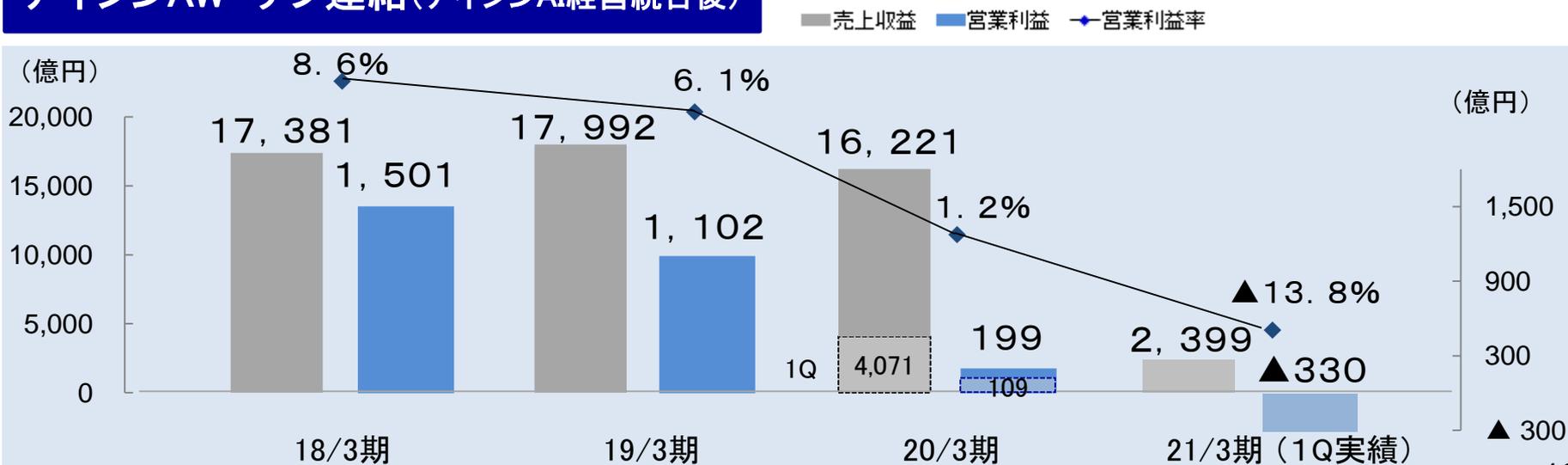
※バーツ、中国元は0.1円あたりの感応度

# 主な連結子会社の財務推移1

## アイシン精機-サブ連結

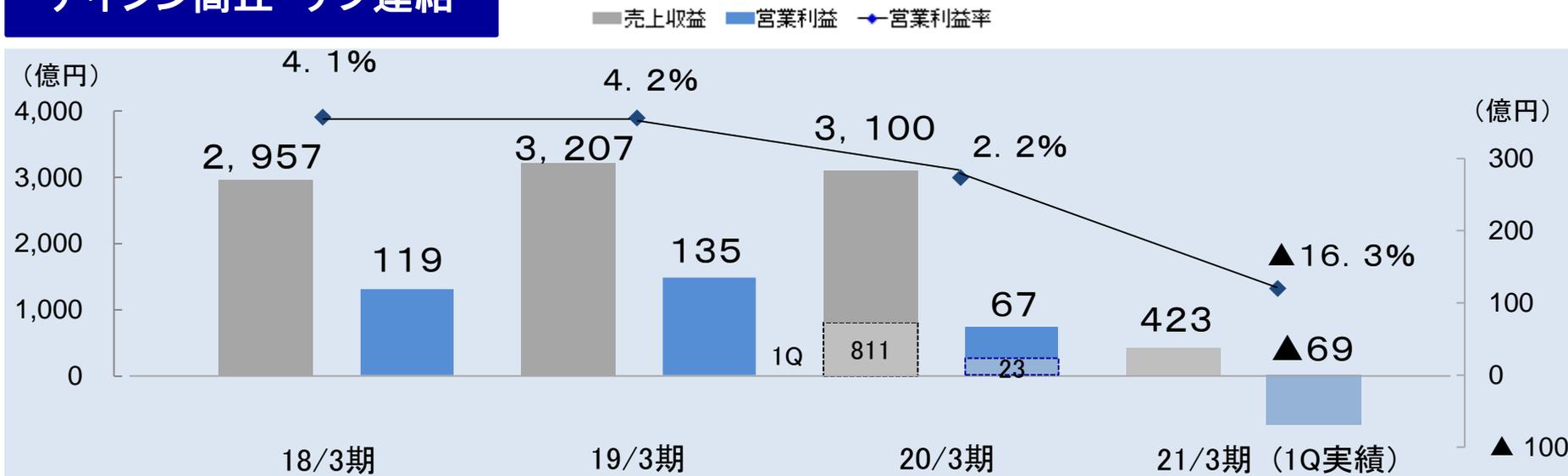


## アイシンAW-サブ連結(アイシンAI経営統合後)

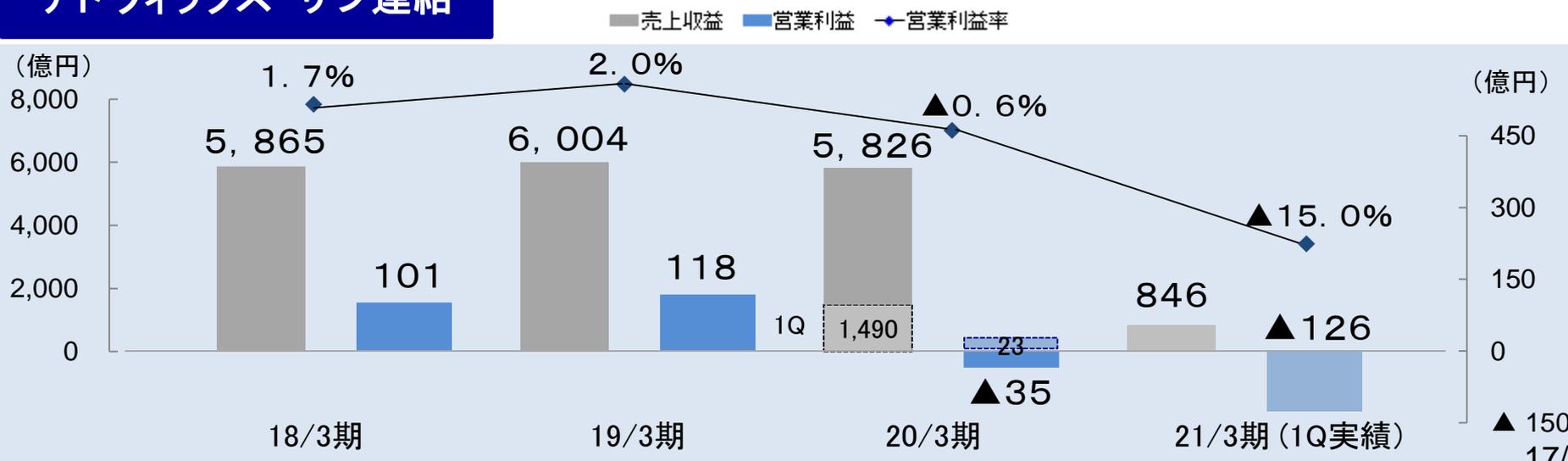


# 主な連結子会社の財務推移2

## アイシン高丘-サブ連結



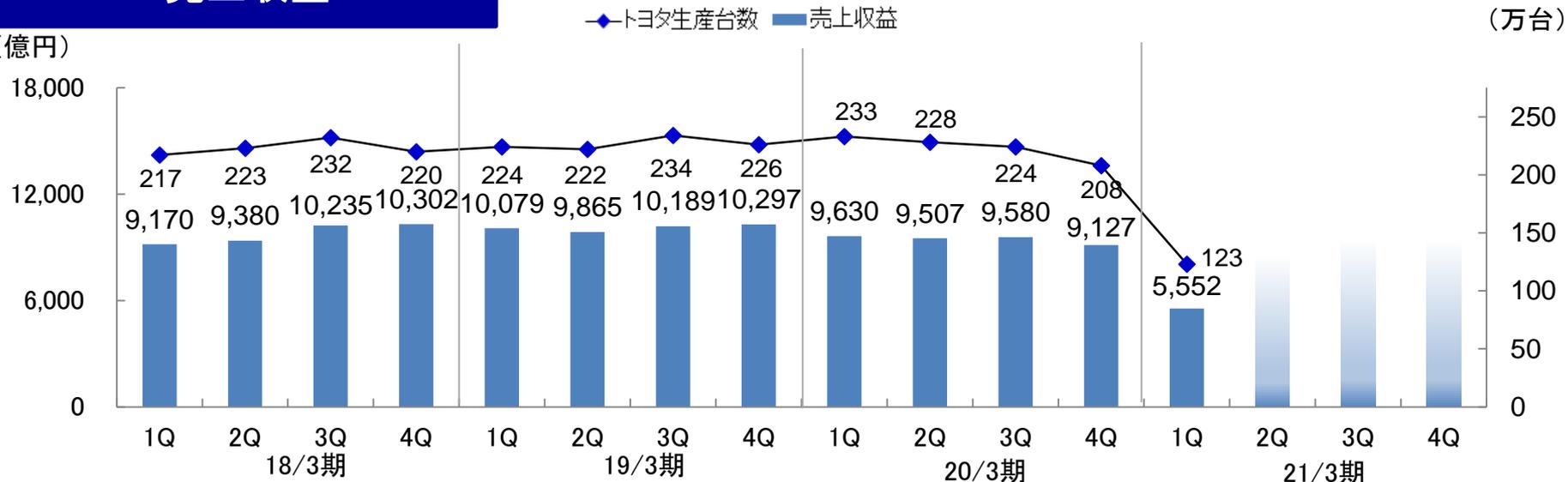
## アドヴィックス-サブ連結



# 四半期業績推移

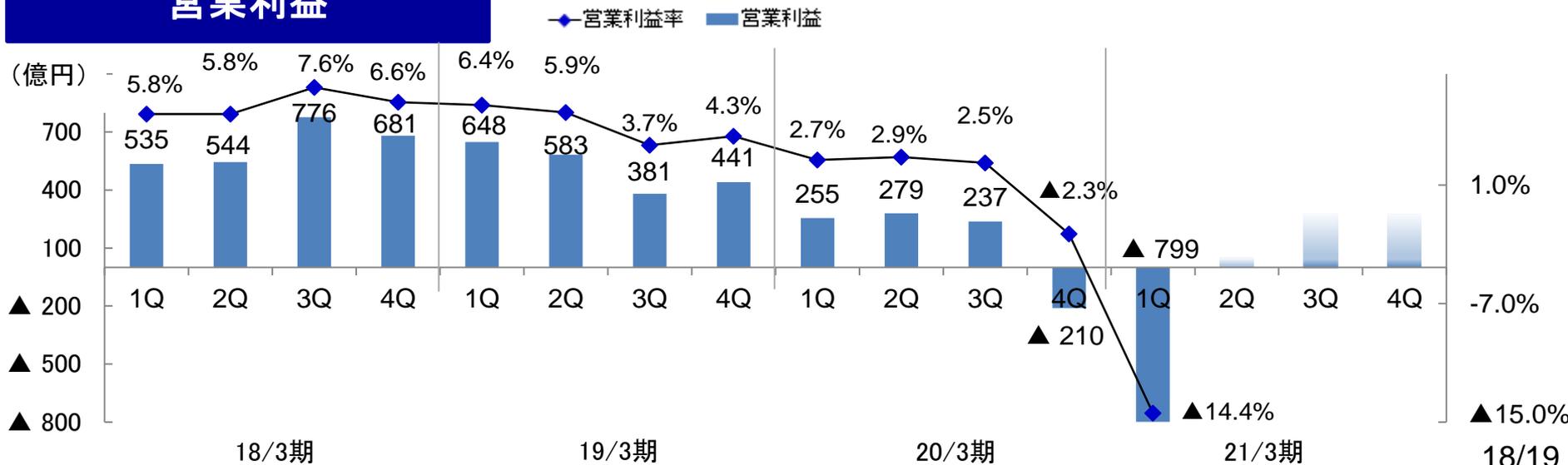
## 売上収益

(億円)



## 営業利益

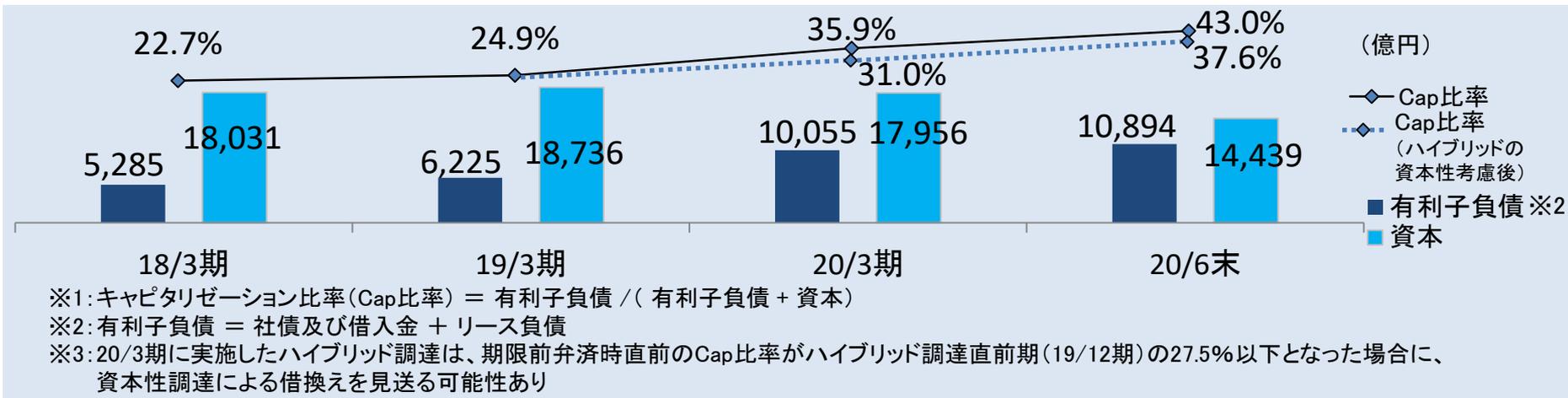
(億円)



# 資本政策及び株主還元

## 資本政策

「財務の安全性」と「資本の効率性」のバランスを取りながら、企業価値の向上を図ることを基本方針としています。そのバランスを考える上で、キャピタリゼーション比率※1が25%～30%となるのが最適な資本構成であると考えています。20/3期末において、AWの自己株式取得資金の調達を実施したため、一時的に当該比率を超える結果となっています。



## 株主還元

安定配当を基本に、連結配当性向30%レベルを目安に考えています。なお、その時々々のキャピタリゼーション比率や将来の投資の動向を勘案し、自社株買いも検討していきます。

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
配当	150	150	120	未定
配当性向	30.6%	36.7%	134.4%	
自社株買い(億円)	594	0	0	
総還元性向(※1)	74.5%	36.7%	134.4%	

(※1) 総還元性向=(配当総額+自社株買総額)÷当期利益